

5-1-4 データ範囲を変更する



解説

■データ範囲の変更

グラフのもとになるセル範囲を「データ範囲」といいます。グラフを作成したあとに、データ範囲は変更できます。表に追加したデータをグラフにも追加したい場合や、項目名が正しく認識されず意図したグラフができなかった場合などに、ユーザーがデータ範囲の詳細を設定できます。

Lesson 104

次の操作を行きましょう。

(1) グラフに2014年度のデータを追加

(1)

- ① グラフを選択します。
- ② 《デザイン》タブ→《データ》グループの  (データの選択) をクリックします。



- ③ 《グラフデータの範囲》に現在のデータ範囲が反転表示されていることを確認します。
- ④ セル範囲【A3:F8】を選択します。



How to

データ範囲の変更

- ◆ グラフを選択→《デザイン》タブ→《データ》グループの  (データの選択)
- ◆ グラフを右クリック→《データの選択》
- ◆ グラフを選択→グラフ書式コントロールの  (グラフフィルター)→《データの選択》



Point

グラフを選択すると、グラフのもとになるデータ範囲が色枠で囲まれて表示されます。色枠をドラッグして、データ範囲を変更することもできます。データ範囲の枠線をマウスポインターの形が  の状態でドラッグすると、位置を移動できます。データ範囲の四隅の  (ハンドル) をマウスポインターの形が  や  の状態でドラッグすると、領域を拡大・縮小できます。

Point

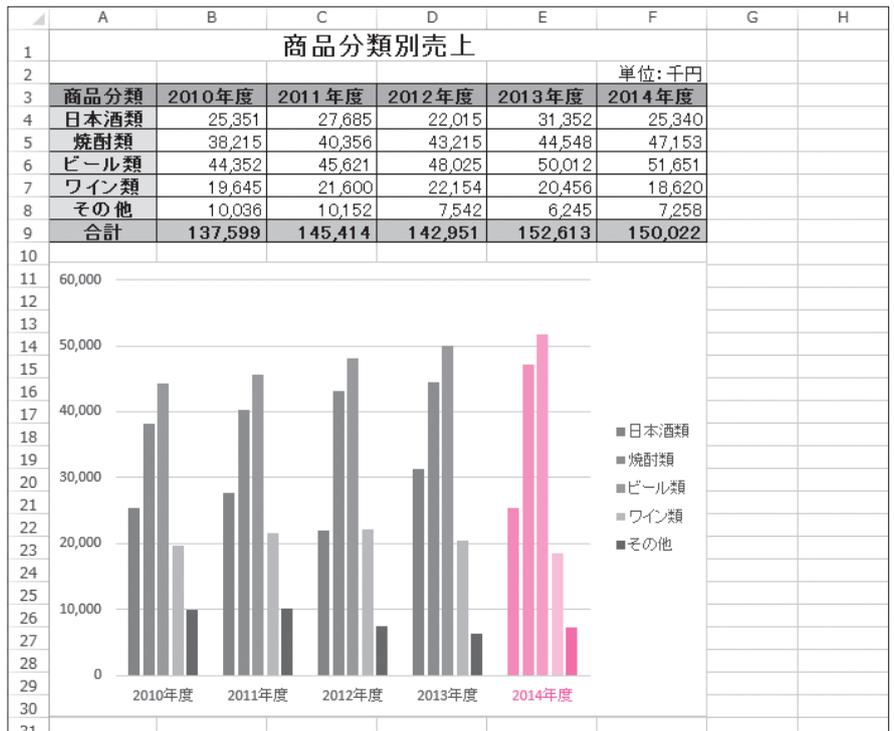
《データソースの選択》ダイアログボックス

- ① グラフデータの範囲**
グラフのデータ範囲を指定します。
- ② 行/列の切り替え**
項目軸と凡例を切り替えます。
- ③ 凡例項目(系列)**
凡例の各項目の表示・非表示を個別に設定します。
《追加》《編集》をクリックすると、凡例のデータ範囲を変更することもできます。
《削除》をクリックすると、凡例を削除できます。
- ④ 横(項目)軸ラベル**
項目軸の各項目の表示・非表示を個別に設定します。
《編集》をクリックすると、項目軸のデータ範囲を変更することもできます。

⑤ 《グラフデータの範囲》が「=商品分類!\$A\$3:\$F\$8」になっていることを確認します。

⑥ 《OK》をクリックします。

<結果>



Point

項目名が正しく認識されない場合

項目名が数値の場合、軸ラベルとして認識されず、データ系列として認識されてしまうことがあります。軸ラベルとして認識させるには、《データソースの選択》ダイアログボックスで《凡例項目(系列)》から項目名を選択し《削除》をクリックします。次に《横(項目)軸ラベル》の《編集》で項目名のセル範囲を選択します。